



自家用車での避難手順を確認する訓練参加者

原子力災害時の避難行動を確認

■原子力防災訓練

原子力防災訓練が2月15日、地頭方漁港、JAハイナン地頭方支店駐車場で行われ、各区の役員をはじめ市民約100人が参加しました。

訓練は、浜岡原子力発電所の事故によって、国が予防的防護措置を準備する区域(PAZ)の市民約14,000人に避難指示を発令したとの想定で実施。

地頭方区の代表約20人がモデルとなって、組ごとにまとめて自家用車で避難する手順や、区、地区、市単位で置かれるポイントでの避難住民の把握などの行動を確認しました。

真っ白な雪に大喜び!

■マキティー雪山大作戦2015

2月8日、マキティー雪山大作戦2015が市役所棟原庁舎駐車場で行われました。

市商工会青年部が、普段雪に触れることがない子どもたちのために、裾野市から雪を運んで、高さ約5メートルの雪山を設置。当日は雨にもかかわらず、防寒着を着た多くの親子連れが訪れ、ソリすべりをしたり、雪だるまを作ったりして、一日限定のゲレンデを楽しみました。

参加者は「なかなか雪を見ることがないので、とても楽しかった」と喜んでいました。



突然現れた雪山で楽しそうに遊ぶ子どもたち

静岡牧之原茶を楽しむ

■お茶カフェ大集合まきの原協奏曲/石雲院

市内のお茶とお菓子が楽しめるお茶カフェ大集合「まきの原協奏曲」が2月22日、高尾山石雲院(坂部区)で開かれました。

静岡牧之原茶を多くの人に知ってもらおうと、静岡牧之原茶宣伝隊が初めて企画。会場には市内のお茶生産農家や茶問屋など10ブースが並び、大勢の来場者で賑わいました。

訪れた人は、牧之原市特産の深蒸し茶だけでなく、紅茶や烏龍茶、釜炒り茶など、さまざまなお茶や地域の銘菓を思う存分に味わっていました。



説明を受けながらさまざまなお茶を堪能する来場者



ガーベラ部会から贈呈されたガーベラのアレンジメント

男女が互いに愛や感謝を伝えあう日

■フラワーバレンタイン

男性から女性に花を贈る「フラワーバレンタイン」を広めるため、ハイナングーベラ部会は2月10日、約100本のガーベラを市役所両庁舎に飾ってくださいと贈呈してくれました。

欧米では、2月14日に男性から女性に花を贈る習慣があり、部会では市特産のガーベラのPRとともに、この普及に取り組んでいます。

八木広之会長は、「女性に花を贈ることが照れくさいと感じる男性が多い。花を贈ることが習慣になればうれしい」と話してくれました。



本通りを元気にスタートする2キロの部の選手たち

早春の市内を舞台に900人が力走

■第58回田沼意次牧之原市マラソン大会

第58回田沼意次牧之原市マラソン大会が2月8日に開かれ、地元をはじめ姉妹都市の長野県松川町、沖縄県などから約900人が出場し健脚を競いました。

大会は本通り商店街をスタート、ゴールとする2キロ・5キロ・10キロの3つのコースで、男女・年代別の計21部門に分かれて行われました。

大会の運営には、市民や学生ら約300人がボランティアとして参加したほか、地元事業所の協賛により市の特産品のお茶やみかんなどが賞品として贈られました。

あいにくの雨模様でしたが、参加者は郷土色豊かな大会を楽しんでいました。

片浜小が環境美化で全国の優良校に

■第15回環境美化教育優良校等表彰

片浜小学校が「第15回環境美化教育優良校等表彰」(公益財団法人食品容器環境美化協会主催)で優良校に選ばれ、2月6日、同校で表彰伝達式が行われました。

片浜小が長年続けている海岸清掃をはじめ、資源ごみ回収や大鐘家での草取りなど、盛んな環境美化活動が評価され、県内唯一の受賞となりました。

6年生の池村直樹さんは、「ずっと続けてきた活動が表彰されてうれしい。もっと自然が豊かになるようにしていきたい」と話してくれました。



協会担当者から表彰状を受け取る大石百華さんと池村直樹さん



先進事例として取り組みを紹介する村松英祐さん

誰もが住み続けたいまちを目指して

■対話による協働の地域づくりフォーラム

対話による協働の地域づくりフォーラムが2月5日と6日、坂部区民センターで開かれ、全国の自治体職員など約200人が参加しました。

牧之原・島田・焼津・菊川市でつくるまちづくり研究会が主催し、協働の地域づくりに取り組む先進事例発表や事業手法などを学びました。

市民ファシリテーターの村松英祐さん(牧之原区)が牧之原市の男女協働サロンの実践事例などを説明した他、早稲田大学マニフェスト研究所所長の北川正恭氏による講演などが行われました。

ズームイン!
カシャ!!



広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp